

嘉麻市社協だより

ボランティア体験授業で、  
手作りのお手玉にふれる

～稲築志耕館高校～

# えがお



発行

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会  
〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内  
TEL 0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>  
FAX 0948-83-8005 [info@kama.syakyo.com](mailto:info@kama.syakyo.com)

No.  
70

発行日 2011.12.1



知り合おう 伝えよう

みんなの活動、地域の活動、イベント、ニュース

# 子育てサロン誕生はあじろいなら

平東地域福祉部では、今年の10月から子育てサロンがスタートしました。

現在、平東公民館では、毎週木曜日に3組の親子と地域の方が集まり、おしゃべりを楽しんだり、みんなで仲良く遊んだりにぎやかな時間が過ぎていきます。

このサロン誕生のきっかけは、地域でのあいさつからでした。同地区の福祉推進員である藤田義輝さんは、平成21年度の地域福祉部研修会を受講した際に、「一人ひとりの行動がまわづくりに繋がっていくことを学び、それ以降、毎日、散歩する時に、まずは、「こんにちわ」のあいさつを、次に会ったときには、もう一声をかけるように心がけてきました。

今回サロンに参加している3組とも、自宅付近で子どもと一緒に遊んでいたところを、藤田さんに声をかけられ、あいさつを交わしていく中で、近所と同じような子育て中の方がい

ることを知り、お互いの家に行き来するようになりました。

しかし、子どもさんが大きくなったり、二人目のお子さんが産まれたりして、次第に環境が変わって行く中で、「周囲のことを気にせずに、もう少し広い場所でのびのびと遊べたら」と思うようになり、藤田さんにその話をする、公民館が利用できるかどうかを行政區長の西シズカさんに話してみようということになりました。その話を受けた西行政區長は、「新たな交流の場になればいいですね。」と快く利用を許可され、子育て



中の方だけでなく、地域の方も気軽に集まることができるようサロンとして誕生しました。

育児の大先輩である地域の方たちと同じ時間を共有するこのサロンは、子どもにとってもお母さん達にとっても、貴重なものとなっています。

3歳と生後5カ月の2人のお子さんと一緒に参加している方は、「結婚して知らない土地に来て不安だったのですが、このサロンを通じて、地域に溶け込んでいけそうです。もっとたくさんの方と知り合えたらいいですね。」と新しい出会いを楽しみにされています。

このサロンは、平東地区以外の方も参加可能だそうですので、子育て中の方も子育て経験者も興味のある方は、平東公民館に遊びにきてください。

## ◆連絡先

藤田義輝さん 42-6404

## 子育てに役立つ情報が満載

〜♥かまっぴ♥第8号発行〜



こども目線♥かまっぴ♥冬号を12月1日に発行しました。

かまっぴ編集会議は、発行1カ月前から、毎週月曜日と木曜日に寄ってこ

今回は、新たに2組の親子がメンバーに加わり、より活発な情報交換を行いながら記事を作ることができました。また、子どもたちもみんなで楽しくにぎやかな編集会議でした。

今号の特集記事は、冬の風邪対策です。寝冷えしないようにするための工夫や、乾燥から身を守る方法などを載せています。ぜひ子どもさんの風邪予防に役立ててください。

また、子どもにも授乳中のお母さんの体にも優しい栄養満点のレシピや嘉穂総合運動公園の紹介、子どもの成長記録をデジカメで撮る方法など、盛りだくさんの内容となっています。

また、市内図書館、子育て支援センター、碓井千歳会館、山田ふれあいハウス等にも置いてありますので、ぜひ手にとってみてください。

かまっぴ編集会議は、発行1カ月前から、毎週月曜日と木曜日に寄ってこハ  
ウスで行っています。次回は3月に春号を発行します。子育て中の方や、子育てに興味のある方など、どなたでも気軽に参加できますので、編集会議にぜひ遊びに来てください。みなさんの参加をお待ちしています。

## お問い合わせ先

嘉麻市社会福祉協議会

☎0948-42-0751

「こども目線♥かまっぴ♥」は、社協のホームページからもご覧いただけます。  
<http://kama.syakyo/kamappi>

また、市内図書館、子育て支援センター、碓井千歳会館、山田ふれあいハウス等にも置いてありますので、ぜひ手にとってみてください。



# 子どもの個性

皆さん方の小学生時代に、クラスには色々な子どもがいたでしょう。走るのが早い子、歌がうまい子、絵が上手な子、手先が器用な子、虫については誰よりも知っている子……。色々な子どもがいて、それぞれに個性がありました。逆に勉強面では、漢字がなかなか覚えられない子や、体育が苦手な子など、できないことでの不利がだんだん目立ってきます。

実は人間は全部が完全にできる人はいず、必ず得意な面と不得意な面があります。家族の中では毎日の生活の中でお互いの特徴が分かっているし人数も少ないので、調整しながら、時には文句を言いながら、バランス良く生活できます。

しかし保育園や幼稚園、学校などの集団生活では、人数が多いために一律のルール

があり、先生のクラス全体への指示で行動する必要があまりありません。特に勉強面では、ほかの子どもと同じようにできないと『努力が足りない』『先生の話聞いてない』と叱られることが増えてきます。

テレビアニメのドラえもんに出てくるのび太くんはすぐに気が散って宿題を忘れるし、ジャイアンはささいなことに腹を立てて暴力をふるい怒られます。

このように集団生活や学習が始まると、個人差が一定程度の範囲を超え、特別な配慮が必要であることが分かってきます。このような配慮をしないと、のび太くんやジャイアンのようにいつも叱られ、『どうせ自分はダメなんだ』と自信や意欲を失い、いつも怒られる相手に対して怒りの感情を強く持つてしまう場合もあります。

このように個性(個人内の色々な要素のバランス)が一定の範囲を超えてしまい、本人の成長や社会適応に不利を生じる場合があります。このような場合には、次の点が大切だと思います。

(1) 子ども自身や家族がその子の得意・不得意を知る

(2) 子どもの成長や社会適応が著しく損なわれている場合や促進が必要な場合には、相応の療育機関や学校に行くという選択肢もある

(3) 周囲の人たちは、子どもの個性を理解し、家族の場合と同じように、本人の特徴を尊重しながらみんながうまく生活できるように調整をする

(4) 心配な場合は、保育所や幼稚園、学校などの先生、保健師さんなど専門家に相談をする

人間はみんな個性があり得意な部分と不得意な部分があります。お互いにその不得意な部分を認め合いながら、得意な部分を使って助けあうことが必要だと思います。



あべ かずひこ  
安部 計彦氏 プロフィール

西南学院大学人間科学部社会福祉学科准教授

甲南大学文学部社会学科卒業後、北九州市児童相談所に入職し、子どものケアにあたる。児童相談所心理判定員、判定係長、北九州市立障害福祉センター障害者福祉係長などを経て、2005年より西南学院大学で、児童虐待の予防と対応を研究。

日本子ども虐待防止学会理事、全国児童相談研究会評議委員、福岡市児童福祉審議会委員、福岡県志免町子どもの権利救済委員、日本学校ソーシャルワーク学会理事。

編著 「ストップ、ザー児童虐待」ぎょうせい 2001  
「一時保護所の子どもと支援」明石書店 2009

## 子育てリユースセンター情報

リユースとは、いらなくなったものを洗浄や修理をしてもう一度使うことです。

本会が碓井千歳会館に設置している子育てリユースセンターには、毎日、おもちゃや洋服など家庭で不用になった子育て用品が寄せられています。ベビーカーやベビーベッドなどは、特に人気があり、すぐにリユースされます。みなさんの家庭にご不用となったものがありましたら、ぜひ、「必要な誰かのために」お寄せください。ご協力をよろしくお願い致します。また、リユースセンターの最新情報などは、子育て情報ブログに掲載しています。

子育て情報ブログは、嘉麻市社協のホームページよりご覧いただけます。

ホームページ  
<http://kama.syakyo.com>



# まかせて安心 空き家の管理

## ～住まいるサービスのご案内～



年々、市内には空き家が目立つようになってきたことから、本会では、その管理をつうじて、地域の安全と環境保全につなげる「空き家管理住まいるサービス」を実施しています。

管理前の空き家は、埃と湿気が多く、敷地内は雑草が伸び放題というのがほとんどですが、サービスを利用することで、徐々に整備されていきます。

現在管理している4軒は、所有者の方が県外に住んでいたり、また、長期出張を理由とするもので、毎月1回、通風や換気、通水、敷地内のチェック、郵便物の整理・転送などの基本サービスを提供するほか、希望に応じて草刈りや草取りなどのオプションサービスも行っています。その他、台風や大雨、積雪などの有事の際にも訪問して、状況を確認しています。

これらの結果については、毎月1回管理報告書(写真入り)を作成して、お伝えしていますので、遠方に住んでいても安心です。

ご家族との思い出が詰まった家屋も、管理する住人がいなければ、敷地内や周囲には雑草が生い茂り、ご近所に迷惑をかけたり、犯罪や非行のきっかけとなる場合もでてきます。また、空気の滞留は、老朽化を早めることにもつながりますので、ぜひ、安心のためにご利用ください。

### ■対象となる家屋は…

市内にある、本人、配偶者、子、または本人の父母のいずれかが所有者となっている家屋

### ■利用できるのは… 次のいずれかの理由によって、現在家屋の管理ができない方

①市外、県外に住んでいるため ②長期出張、転勤となったため ③入院、施設入所したため

### ■利用の申込みには… 火災保険・家財保険加入証の写しが必要です。

### ■サービス内容及び利用料金は…

①基本サービス 月1回/3,000円

通風・換気、通水、敷地内のチェック、雨漏りのチェック、内部のチェック、外部のチェック、有事後の巡回、郵便物の整理・転送を行います。

②オプションサービス(希望に応じて行います)※事前に見積もりをいたします。

掃除 1時間/700円 近隣訪問 1回/200円 庭の草刈り 1時間/1,500円

庭の草とり 1時間/1,000円 庭木の剪定 1時間/1,000円

※サービスの提供は、事前に作成する「管理計画書」に基づいて行います。

### ■利用の条件は… 嘉麻市社協の会員(1,000円/年額)に加入することが必要です。

問い合わせ 嘉麻市社会福祉協議会 電話0948-42-0751

## 1月の 総合相談

法律相談は予約が必要ですので、お早めにお申し込みください。

### 法律相談

と き: 1月5日(木) 13:00~16:00  
と ころ: 山田ふれあいハウス

と き: 1月19日(木) 13:00~16:00  
と ころ: 稲築住民センター

### 心配ごと相談

と き: 1月11日(水) 13:00~15:00  
と ころ: 稲築住民センター

と き: 1月25日(水) 13:00~15:00  
と ころ: 稲築住民センター

嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751



# 嘉麻市から 全国の舞台へ



真剣な面持ちで練習に励んでいます。

11月12日(土)、13日(日)に、東京で開催された全国青年大会・体育の部のバスケットボール競技に、福岡県代表として「稲築バスケットボールクラブ」が出場しました。8人という少ないメンバーで福岡県大会を勝ち抜き、全国大会でも活躍された選手の方たちに、お話を伺いました。

稲築バスケットボールクラブは、20年ほど前に稲築高校(現在の稲築志耕館高校)のOBを中心に設立されました。1993年に全国大会に出場しましたが、その後は、県大会の決勝や準決勝で敗退し、涙を吞んできました。

今回、全国大会への出場を果たした裏には、今までの練習方法を見直して、基礎的なものを多く取り入れたことと、試合中の方針を攻撃主体から守りを固めるものに変えたことがあるそうです。当初は練習内容や、プレースタイルの変化に戸惑ったそうですが、勝つためにと仕事を終えた後の練習に打ち込みました。そして、練習試合などをこなすうちにこの変化にも対応できたそうです。

その成果は、県大会で現れた糟屋郡のチームを、決勝では昨年準優勝の久留米市のチーム



選手のみなさんの胸に輝く銅メダル

を破り、悲願の優勝を飾りました。決勝戦では、連戦の疲れで、終盤までリードされていましたが、終了間際に粘り強さを発揮し、劇的な逆転勝利となり、選手の溝田さんは、「この試合は、今までで一番印象に残っています。逆転した瞬間は、コートとベンチが一つになれたような気がします。」と、その時の様子を感慨深く振り返ります。

全国大会の目標を、「大舞台の雰囲気にもまれることなく、自分たちのプレーをして、優勝すること。」と話していた選手たちは、順調に準決勝まで勝ち上がりましたが、愛知県代表のチームに65対66で負けてしまいました。あと一歩のところまで優勝を逃したことに、選手たちは悔しさをにじませていました。しかし、全国三位という大健闘の結果は、チームのこれからの更なる活躍を期待させるものになりました。

# 地域の防災について

11月4日(金)、穂波ふれあい会館で、飯塚市・桂川町・嘉麻市社会福祉協議会合同の講演会を開催しました。この事業は、これまで三社協の職員研修会として毎年開催してきましたが、今年は、3月11日に発生した東日本大震災以降、地域の防災意識が高まっている中で、市民の方々へも参加を呼びかけました。

講師の李仁鉄さん(特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク事務局長)は、平成16年の新潟県での大水害以降、様々な被災地で支援活動を行っており、今回の東日本大震災でも、福島県内の災害ボランティアセンターの設置・運営の支援に携わっています。

講演の最初に、東日本大震災で津波が街に押し寄せる様子やそれによって壊滅した街並みなどの写真がスクリーンに映し出されると、参加者は息を呑んで、一枚一枚をじっと見つめていました。

また、李さんは、今回の東日本大震災をはじめ、災害の多くが、社協がこれまで培ってきた地域の助けあいの関係やつながりをも破壊してしまうほどの規模で発生していることを説明しました。しかし、どんな状況の中でも、被災者の心のケアなど、つながりがある人だからこそできる支援があるため、いざというときに備えて助けあい、支えあいの関係づくりをこれまで以上に積み上げていく必要があることを強調しました。



そして、李さんは締めくくりに、「日頃の地域活動の中に、「防災」という視点を取り入れて、より一層地域住民同士の関係づくりや要援護者の把握に力を入れていただきたい」と思います。」と社協の役割を語り、参加した社協職員もその思いを強くしました。

# かまボランティア 市民活動センター情報

2011年  
12月

## ボランティアへの興味深まる

かまボランティア・市民活動センターに登録している、お手玉の会「ボタちゃん」、点訳サークル「てんとう虫」、図書ボランティアサークル「ピノキオ」のみなさんが、稲築志耕館高校でボランティア活動体験授業の講師をされました。この授業は、これまで1日体験で施設訪問を中心に実施してきましたが、今年はボランティアの意義と理解をより深めるために、3日間に延長し、市内のボランティアグループと交流しながら実施しました。

5、6限目の時間に240人の1年生が約20人ずつに分かれ、それぞれのクラスでボランティア活動を体験しました。そのなかで、あるクラスを担当したお手玉の会「ボタちゃん」は、普段は地域の高齢者施設等で、お手玉を使ったレクリエーション活動をされています。今回は、3日間を通して、お手玉を縫うところから指導され、実際に作ったお手玉で歌に合わせて遊びを教え、みんなで交流しました。生徒のみなさんは、初めての体験に積極的に取り組み、夢中になっていました。また、昔のあそびであるお手玉は、脳を活性化させ、現在介護の現場でも多く取り入れられていることが伝えられ、生徒のみなさんはとても興味深げに聞いていました。

「ボタちゃん」の高木さんからは、核家族が増えてきている現在は、子どもたちが高齢者と接する機会も減ってきているので、積極的にボランティア活動に参加して人生の大先輩と触れ合う機会をつくってほしい、そして困っている人にさっと手をさしのべることができるような人になってほしいといった話もあり、ボランティアをする大切さが生徒にしっかり伝わった有意義な時間となりました。



初めてのお手玉作りに挑戦

## みんなで力を合わせると

嘉穂総合高校大隈城山校は、学校全体でリングプルを集めるボランティア活動に取り組んでいて、全校生徒75名だけでなく、家族や先生、地域の方などたくさんの方に協力の呼びかけをしています。



昨年から一年かけて集められたリングプルは、約70キロ(14万個)にも及び、10月29日、一夜城まつりの中で、そのリングプルと昨年度の文化祭のバザー収益金を寄贈

する贈呈式が行われました。

生徒会会長の林雅貴さんは、「自分達が日頃お世話になっている嘉麻市に恩返しをしたいという思いでリングプルを集めました。バザーの収益金は、東日本大震災被災地復興のために使ってください。」と本会事務局長へ手渡しました。

バザー収益金は、中央共同募金会を通して、東日本大震災被災地へお届けし、リングプルは換金し、市内の地域福祉事業のために活用させていただきます。本当にありがとうございます。

## ボランティア募集情報

### もちつきの補助

社会福祉法人嘉穂の里では、もちつきの際に入所者の見守りや補助をしていただける方を募集します。

**日時** 12月10日(土)10時～15時

**場所** さくら学園(牛隈1712-7)

**活動内容** もちつきの補助、見守り

**募集人数** 10名程度

**募集締切** 12月7日(水)

### 冬休み期間中のボランティア

本会が実施する日中一時支援事業で、子どもたちと一緒に遊んでいただける方を募集しています。

**日時** 12月22日(木)から1月9日(月)  
8時～18時の間でご都合の良い日、時間帯  
※12月29日～1月3日及び日曜を除く

**場所** 嘉麻北日中一時支援事業所(鴨生339)  
嘉麻南日中一時支援事業所  
(山田ふれあいハウス内 上山田502-6)

**活動内容** 遊び相手、勉強の補助、クリスマス会の準備や当日のお手伝い

**備考** 動きやすい服装でご参加ください。  
また、時間帯によって、弁当、お茶をご準備ください。



# 法人運営 INFORMATION

## 弁当容器の入札参加業者募集

このたび、平成24年度配食サービス事業で使用する弁当容器の入札参加業者を下記のとおり募集いたします。

- 1. 参加資格** 指定した弁当容器と汁カップを毎月指定した場所に納品することができる業者  
※市内外は問いません。
- 2. 受付期間** 平成23年12月1日(木)から平成24年1月16日(月)  
午前8時30分から午後5時まで(但し、土・日曜日・祝日、12月29日から1月3日は除く)
- 3. 受付場所** 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内  
社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会 TEL 0948-42-0751
- 4. 申込み用紙等** 嘉麻市社会福祉協議会に準備しています。  
お申込をいただいた際に、入札実施要項及び仕様書等をお渡し致します。

### 年末年始 休館のお知らせ

**山田ふれあいハウス**  
12月28日(水)から  
1月4日(水)

嘉麻市上山田502番地6  
☎0948-52-1847

**碓井千歳会館**  
12月29日(木)から  
1月3日(火)

嘉麻市下白井1050番地19  
☎0948-62-3538

### 千歳会館にたくさんの方が集う

第4回碓井千歳会館フリーマーケットが、10月16日(日)、同会館の駐車場で開催され、日用雑貨や陶器、花の苗などを販売するお店(11店)が軒を連ねました。

当日は、300名を超える来場者があり、心地よい秋の日差しの中で、おもしろい買い物を楽しみました。日頃、この会館は、会合やサークル活動など、利用する方が限定されがちなため、この日の賑わいは、多くの方に会館を知ってもらうことができました。

また、今回は、同会館の焼物室と染物室を使用して活動する琴平陶芸サークル及び草木染めサークルの協力を得て、陶芸の窯出しや草木染めの展示コーナーを設けました。

見学された方々は、作品の素晴らしさやサークル活動の楽しさを知り、マーケットで見つけた品物と心への栄養という二つのお土産を持ち帰る一日となりました。

「読めば答えが見つかるかも」  
**社協だよりクイズ?**

「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に図書券(千円分)をプレゼントいたします。

#### 問題

ホットニュースのコーナーで紹介した、平東子育てサロンは、毎週何曜日開催されているでしょうか?

- (1) 火曜日
- (2) 水曜日
- (3) 木曜日

#### ◆応募方法

①クイズの答え、②広報紙の感想、③住所、④電話番号、⑤氏名、⑥年齢をご記入の上、12月28日(必着)までに、ハガキ、またはEメールでご応募ください。

#### ◆送付先

〒820-0205  
嘉麻市岩崎1143番地3 嘉麻市社会福祉協議会  
E-mail: [tiki@kama.syakyo.com](mailto:tiki@kama.syakyo.com)

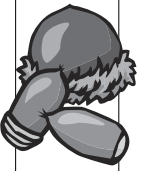
#### ◆前号のクイズの答え(1)

本会職員が支援に入った浪江町社会福祉協議会の事務所があるのは、二本松市でした。応募のあった方々から社協だよりの感想を頂きましたので、紹介します。

・紙面からいろいろな情報が得られるので、毎日楽しみにしています。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

みなさまの善意、心より厚くお礼申し上げます。



寄附・香典返し

10月1日～10月31日受付分

●香典返し

【漆生本村】

親族 野見山 利三様

故 野見山 利一様

【口春】

親族 砥綿 一美様

故 砥綿 ハツ様

親族 石井 喜多代様

故 石井 通夫様

【鴨生第二】

親族 内村 ミヤ子様

故 内村 忠夫様

親族 鳥居 襟子様

故 鳥居 ヨシ様

【鴨生第一】

親族 吉野 貞子様

故 吉野 光様

【錢代坊】

親族 諫本 範子様

故 諫本 アヤ子様

【枝坂】

親族 江藤 秀一様

故 江藤 一枝様

【飯田】

親族 吉井 君子様

故 吉井 峯生様

【光代】

親族 伊藤 日出夫様

故 伊藤 アサ子様

【昭嘉】

親族 平井 正子様

故 平井 直紀様

親族 喜多村 カズエ様

故 喜多村 秋則様

【吉隈】

親族 島中 君枝様

故 島中 俊彦様

【尾浦第二】

親族 榎本 洋一様

故 榎本 マサエ様

親族 榎本 マサエ様

故 榎本 マサエ様

親族 寺田 絹枝様

故 寺田 絹枝様

親族 竹内 陽子様

故 竹内 秀之様

親族 竹内 秀之様

故 竹内 秀之様

親族 山本 キサ子様

故 山本 貞幸様

親族 山本 貞幸様

故 山本 貞幸様

親族 手嶋 俊明様

故 手嶋 君子様

親族 手嶋 君子様

故 手嶋 君子様

親族 下田 義昭様

故 下田 フジエ様

親族 下田 義昭様

故 下田 義昭様

親族 渡辺 雄一様

故 渡辺 サカエ様

親族 渡辺 雄一様

故 渡辺 雄一様

【上西郷】  
親族 大谷 信子様  
故 大谷 一雄様

親族 山口 義文様

故 山口 保英様

親族 山口 保英様

故 山口 保英様

親族 手島 久子様

故 手島 一九様

親族 手島 久子様

故 手島 久子様

親族 桑野 裕司様

故 桑野 末夫様

親族 桑野 裕司様

故 桑野 裕司様

親族 野見山 澄修様

故 野見山 澄修様

親族 野見山 澄修様

故 野見山 澄修様

親族 井泰彦様

故 井泰彦様

親族 井泰彦様

故 井泰彦様

親族 大嶋 良子様

故 大嶋 和恵様

親族 大嶋 和恵様

故 大嶋 和恵様

親族 中嶋 亜紀子様

故 中嶋 亜紀子様

親族 中嶋 亜紀子様

故 中嶋 亜紀子様

親族 荒木 真美様

故 荒木 真美様

親族 荒木 真美様

故 荒木 真美様

錢代坊 東美那子様  
下白井東 匿名様  
六四田 松田 敏雄様  
本町 室井 榮子様  
下宮 三好 邦央様  
中央 明石 睦則様  
石ヶ崎 渡邊美千代様  
貞月 大屋由理子様  
東馬見 匿名様  
宮吉 渡辺 幸子様  
牛隈北区 吉原久美子様

【小野谷】  
親族 桑野 裕司様  
故 桑野 末夫様

【上】  
親族 野見山 澄修様  
故 野見山 澄修様

【屏】  
親族 井泰彦様  
故 井泰彦様

【二般寄付】  
嘉穂の名水愛好者一同様

【子育てリユース】  
横山貴代美様

漆生中央 大嶋 良子様  
東岩崎 高橋 和恵様  
口春 中嶋 亜紀子様  
鴨生北町 服部 陽子様  
鴨生北町 荒木 真美様  
鴨生北町 荒木 真美様  
平山 松隈 明美様  
飯田 陶山 浩美様  
熊本 中島 瞳様  
下白井西 坂本さつき様  
南ヶ丘団地 福島 彩様  
桑野 江藤 千鶴様  
飯塚市 片野 早紀様  
【アルミ缶】  
匿名様

【使用済みテレカ】  
小陳美登里様  
浦田 美香様

【古切手】  
古賀 絹江様  
小陳美登里様  
川原 梨花様

福岡銀行稲築支店  
下白井西 坂本さつき様  
下白井西 坂本さつき様  
下白井西 坂本さつき様

【使用済みテレカ】  
小陳美登里様  
浦田 美香様

【使用済みテレカ】  
小陳美登里様  
浦田 美香様

【使用済みテレカ】  
小陳美登里様  
浦田 美香様

あなたの会費が、社協の地域活動を支えています

会員として、次の方々にご加入いただきました。  
(敬称を省略させていただきます)  
10月1日～10月31日受付分

【稲築才田】重松亜末  
【口春】貞金健一、浦健一、石井敏晴、井手勇、有吉久男、勝山義弘、野見山隆弘、木下幸夫、奥野豊、福沢吉三郎、永易敬行、野間俊彦、河野信一郎、山倉正裕、吉井千恵子、仲西朋子、福澤末男、橋本武彦、宮崎正利、上野博幸、倉智貞茂、山下弘之、恵原一郎、篠寿年江、福澤祐子、永川きくの、土屋美佐子、東島茂、下原英子、中ノ森久子、高木久美子、石井公江、奥野康子、山下栄子、河津美代子  
【緑ヶ丘】篠原弘之、金国勝美、富永昭信、峰須賀テル子、寄村順子、黒石峰雄、野嶋シズヨ、川上一記、城崎淳代、松本政之、栗原徳吉、西好一郎、水上文雄、松本正義、安本彰一、野村まこと、椎葉富子  
【平山】實藤仁美  
【上白井上】犬丸寿美子  
【木城】梶原正利、石原口節子、葛尾勉、岩見由紀子、松室スミ、米元ナツエ



〈三菱第一〉矢野和子

〈石ヶ崎〉平田信孝、平田久美子

〈日吉〉穴井峯敏、青木トシ子、青木正親、浅野英子、飯田恒喜、今村ハル子、大野サツエ、河村一、木下トミ子、桑野スズ子、後藤トキエ、田中和昭、久恒清、藤田真吾、松岡フジエ、松向清茂、森本月夫、角本房恵、木村豊次、定政一、松向秀昭、浦田守

〈下牛隈〉熊本正夫

〈千手〉森美子

〈小野谷〉若狭瑞穂

〈大分県日田市〉櫻木和子

義援金をお寄せいただき、ありがとうございます

東日本大震災の復興のために、義援金をお寄せいただいています。

誠にありがとうございます。  
(10月12日～11月10日受付分)

福岡県立嘉穂総合高等学校  
大隈城山校

嘉麻市体育協会バドミントン部

※順不同で掲載しております。  
※10月30日までに受け付けた義援金につきましては、中央共同募金会に送金いたしました。

# ふるさとが懐かしい風景を

嘉麻市社会福祉協議会の事務局とカツホー馬古屏で、嘉麻市の懐かしい風景をハガキにしたポストカード「ふるさとの風景」(4枚一セット200円)を販売しています。カードには、三井山野第一堅坑や大隈町の町並み、木造駅舎の旧臼井駅、日吉峠を走る蒸気機関車の写真が掲載されていて、昭和の時代を懐かしむことができます。

県外で暮らす家族や友人への年始のあいさつにぜひご利用ください。



4枚1セット  
**200円**

## カツホー馬古屏

嘉麻市牛隈882番地 1

## 嘉麻市社会福祉協議会事務局

嘉麻市岩崎1143番地3 ☎0948-42-0751

## 嘉麻市社会福祉協議会指定 葬祭場紹介

# いすや会館

嘉麻市牛隈1822 ☎(0948)57-4444

葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定でお願いします」とお伝えください。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。



いすや会館は、アットホームな雰囲気があるところが、セールスポイントです。  
ご親族の希望に添えるような葬儀を行いますので、気軽にご相談ください。

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、いすや会館を含め、市内に8カ所あります。

- セレモニーホールおおつか……☎52-1212
- かほ葬祭 あじさい会館……☎62-5566
- 善光会館 稲築会場……☎83-5000
- おかむら葬祭岡村会館……☎42-4420
- 飛鳥会館 南斎場……☎42-4241
- さど葬祭やまさ碓井斎場……☎62-4499
- ひさつね会館……☎52-0758



いすや会館 古田さん 原中さん

## 故郷を想う

先頃、高校の同窓会に参加した折、友人から、故郷について何か書いてみないかと誘われ、改めて我が故郷について、思いを巡らせました。「故郷とは」と、大上段に構える気はないのですが、ついつい考えさせられてしまいます。

私は、旧碓井町で生まれました。既にこの地を離れて、半世紀が過ぎました。今は、大阪の堺に暮らしています。ややもすれば、疎遠になりがちな故郷ですので、年一回の同窓会にはなるべく出席するようにしています。人は歳を重ねる程に、故郷に思いを馳せることが多くなる、と聞いていますが、まさに、私もその歳なのかもしれません。

私が故郷を想う時、いくつかのキーワードがあります。そのうちでも、山、川、ボタ山、炭鉱等は、強く印象に残っています。実家の近くには、長谷山、琴平山、遠くには古処山があります。数年前、画家の友人に頼んで、スケッチしてもらい、その絵は部屋に掛けていて、それを見ては故郷を思い出しています。今はきれいな流れの千手川ですが、選炭場から流れ出た、黒く濁った流れの中で、夏は泳いで遊んだ記憶が、炭鉱、ボタ山の残像と共にあります。故郷は、いつまでも、美しい自然の中にあつてほしいと願っています。石炭産業の衰退に伴い、経済的な側面では困難な時期もあつたと思いますが、今はそれ以上のものを得ている気も致します。

私は、ゴルフが好きです。よくコースに出ます。時々、九州出身のキャディーさんに出会い、「松岡さんは、九州の人ですか。」と言われることがあります。どんなに永く離れていても、言葉は変わらないものだと思います。私は、たぶん、生涯筑豊弁で喋り続けるだろうと思っています。

過去に、約二年間ほど、心理学を学びました。人格(自己概念)形成過程で、幼少期の体験が、大きく影響を及ぼすと言われています。日頃は、何気無く過ごしている私ですが、思いめぐらせると、私にとって故郷は、自分の体に溶け込んでいる、空気がたいなものではないでしょうか。



大阪府堺市在住  
松岡 勝彦さん(73歳)  
飯田出身

## 会員加入のお願い

嘉麻市社会福祉協議会では、市民のみなさんとともに福祉のまちづくりを推進していくため、会員を募集しています。年間を通じて受け付けていますので、ぜひご加入ください。

今回は、皆さんから寄せられた会費で実施している「地域福祉部研修事業」をご紹介します。

この事業は、稲築地区の21行政区に設置されている地域福祉部で、活動の要となっている福祉推進員をはじめ、行政区長や民生委員児童委員などの関係者のみなさんと連携して、福祉のまちづくりをすすめていくことを目的として開催しています。

また、地域福祉部が設置されていない行政区にもこの活動を広げていくため、行政区長や民生委員をはじめ、市民の方にも参加を呼びかけており、この研修会への参加がきっかけで、ふれあいいきいきサロンが開設されるなど地域の中での新たな取り組みが生まれてきています。

■会員の種別と金額 一般会員 1口 1,000円/年額 法人・団体会員 1口 1,000円/年額  
お問い合わせ先 社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会 電話 0948-42-0751



三井山野第一堅坑の掘削風景

三井炭山は、明治28年2月、当時の嘉穂郡稲築町周辺の鉱区を購入し、山野第一坑、第二坑を開坑。続いて明治39年12月には、鴨生坑・漆生坑を開坑して村全体が活気に満ち、明治44年末には36万トンを出炭するほど、筑豊における有力炭鉱に成長しました。その後鴨生坑は第三坑と改称して30年以上採掘を続行した結果、深部採掘の計画に伴い、昭和14年7月14日、第一堅坑を着工、戦時中一時工事を中断しましたが昭和20年8月15日終戦後に再開しました。一時中止の影響で、多数の含水水層による止水工事に時間を要しましたが、昭和27年10月20日に見事完成しました。

写真は、終戦後に撮影されたもので、堅坑を掘るためにバケットに乗って昇降している様子です。提供者である阿座上利雄さん(鴨生)は、22年間山野炭坑で採炭係員を勤めました。20歳の頃、作業中に堅坑現場に行つた際に、坑口から坑底を覗くと、

炭鉱時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。嘉麻市社会福祉協議会までご連絡いただければ幸いです。(TEL 0948-42-0751)

